

作成日 2008年03月03日  
改訂日 2009年10月01日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 カルコーン粒剤  
会社名 保土谷 UPL 株式会社  
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号  
担当部門 営業部  
電話番号 03-6225-3194 FAX 番号 03-6225-3197  
緊急連絡先 保土谷 UPL 株式会社 営業部  
電話番号 03-6225-3194

整理番号 0105

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物  
化学名 シアナジン 2-(4-chloro-6-ethylamino-1,3,5-triazin-2-ylamino)-2-methylpropionitrile  
(2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチルプロピオニトリル)  
DCBN 2,6-dichlorothiobenzamide  
(2,6-ジクロロチオベンザミド)

別名

| 成分         | シアナジン                                           | DCBN                                             | その他成分 |
|------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------|
| 含有量(%)     | 10.0%                                           | 5.0%                                             | 85.0% |
| 化学特性 (示性式) | C <sub>9</sub> H <sub>13</sub> ClN <sub>6</sub> | C <sub>7</sub> H <sub>5</sub> Cl <sub>2</sub> NS | 非公開   |
| 官報公示整理番号   | 化審法 なし                                          | (3)-2991                                         |       |
|            | 安衛法 8-(3)-498                                   | 4-(7)-459                                        |       |
| CAS No.    | 21725-46-2                                      | 1918-13-4                                        | 非公開   |

化学物質管理促進法 (PRTR 法)

: 新番号 第1種指定化学物質第91号 シアナジン  
(旧番号 第2種指定化学物質第18号 シアナジン)

労働安全衛生法第57条の2

第1項通知対象物質 該当せず 該当せず 該当せず  
危険有害成分: 情報なし

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 眼に対して刺激性がある。  
環境影響 : 藻類に対して強い毒性がある。  
物理的及び化学的危険性 : 加熱により分解する可能性があるが、通常の状態では危険な反応や火災爆発を起こすことはない。

特定の危険有害性：情報なし

分類の名称（分類基準は日本方式）：該当せず

#### 4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。呼吸が停止している場合には、作業衣をゆるめ、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。呼吸困難な場合には酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：汚染した作業衣を脱ぎ、触れた部分を多量の水と石鹼で洗い流す。もし、皮膚に炎症を生じたような時は医師の手当をうける。

目に入った場合：清浄な水で最低 15 分間以上洗眼し、眼科医の手当を受ける。洗眼の際は、まぶたを指でよく開いて眼球・まぶたのすみずみまで水が良くいきわたるように洗う。

飲み込んだ場合：多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせた後、直ちに医師の手当を受ける。被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてはならない。

#### 5. 火災時の措置

消火剤：泡、粉末、炭酸ガス消火器、大量の水、乾燥砂

特定の消火方法：延焼防止のため、移動可能ならば容器ごと速やかに安全な場所に移して火元から遠ざける。移動不可能な場合には容器を密封してホースにて放水し冷却し続ける。

消火を行う者の保護：製品は難燃性ではあるが、場合によってはハロゲンガス用防毒マスクあるいは空気呼吸器を着用して消火作業に当ること。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には必ず保護具を着用し、風上から作業する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風下の人を退避させる。屋内の場合、処理が終わるまで十分換気を行う。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

除去方法：飛散したものを掃き集める。拭き取る。真空で吸い取る等で速やかに出来るだけ粉塵が飛散しない方法で空容器に回収する。

二次災害の防止策：着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：防塵マスク、保護眼鏡、皮膚への接触を防ぐのに適切な手袋、衣服を着用し、取り扱いに際しては、十分な注意を払う。

注意事項：粉塵が飛散しない様に注意する。取扱う場合は局所排気内で取扱う。

安全取扱い注意事項：情報なし

保管：

適切な保管条件：容器を密封し、冷暗所、通気の良いところで保管する。

安全な容器包装材料：ポリエチレン袋、クラフト加工紙袋、ファイバードラム、

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場においては局所排気装置を使用する。

管理濃度：設定されていない

許容濃度：

日本産業衛生学会（2003 年版）設定されていない

ACGIH（2003 年版）設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具：防塵マスク、送気マスク、自給式呼吸器

手の保護具：ゴム製保護手袋又はビニール製保護手袋

目の保護具：ゴーグル型

皮膚及び身体の保護具：保護服（長袖作業衣）、保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：固体（粉末）

色：淡褐色

臭い：情報なし

pH：8.4

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

沸点：該当しない

融点：シアジソン 167～169℃、DCBN 150.6～152.1℃

分解温度：情報なし

引火点：情報なし

爆発特性：情報なし

蒸気圧：情報なし

密度：シアジソン 1.29g/cm<sup>3</sup>（20℃） DCBN 1.59g/cm<sup>3</sup>（20℃）

溶解性

水に対する溶解性：シアジソン 171mg/L（25℃）、DCBN 1.05g/L（25℃）

溶媒の溶解性：

オクタノール／水分配係数：シアジソン Log Pow=2.1、DCBN Log Pow=1.77（室温）

## 10. 安定性及び反応性

安定性（熱）：通常の保管・取扱いでは安定。

反応性：情報なし

危険有害な分解生成物：製品は難燃性ではあるが着火した場合には塩化水素、一酸化炭素、窒素酸化物などの有害ガスが発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性：経口毒性 LD<sub>50</sub> ラット♂ >4817mg/kg、♀ >2945mg/kg

経皮毒性 LD<sub>50</sub> ラット♀ >2000mg/kg

局所効果：刺激性（眼粘膜一次刺激性） ウサギ 軽度刺激性あり

（皮膚一次刺激性） ウサギ 刺激性なし

皮膚感受性 モルモット 陰性

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性

|     |      |                   |                    |
|-----|------|-------------------|--------------------|
| 魚毒性 | ：コイ  | LC <sub>50</sub>  | 370ppm (96hrs)     |
|     | ミジンコ | LC <sub>50</sub>  | 60ppm (48hrs)      |
|     | 藻類   | EbC <sub>50</sub> | 0.078ppm (0-72hrs) |

## 1 3. 廃棄上の注意

燃焼時に有害ガスが発生することがあるので、除害設備のある焼却炉で注意しながら少量ずつ焼却する。または、認可を受けた産業廃棄物処理業者へ委託する。

## 1 4. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件：運搬に際しては容器に漏れや破れがないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止策を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

国際規制：該当せず

## 1 5. 適用法令

農薬取締法 農薬登録番号第 20034 号（カルコーン粒剤）

## 1 6. その他の情報

化管法（P R T R法）の届出は平成 21 年度は必要ありませんが、平成 22 年度からは新番号での排出・移動量の把握が必要になります。

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。  
又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。